

NGO サポート募金

「東日本大震災 活動支援まとめて募金」

活動報告書

期間 2011年3月12日～2013年3月31日

あたたかいご支援ありがとうございました。

国際協力 NGO センター(JANIC)が、東日本大震災の被災地で支援活動を行う NGO を資金面で支援するために開設した NGO サポート募金「東日本大震災 活動支援まとめて募金」は、2011年3月12日～2013年3月31日の期間中、1,875人のみなさまから 101,360,525 円ものあたたかいご支援をいただきました。

※JANIC に手数料として 20%いただいています ※複数回ご寄付くださった方は 1 組とカウント

NGO サポート募金とは



複数の NGO へ一度に寄付が出来る仕組みです。NGO サポート募金なら、個々の NGO のことはよくわからなくても、関心のある分野に簡単に寄付ができます。8つの分野に分けた「まとめて募金」では、JANIC を通して各分野で活動している NGO へ募金が均等に分配されます。

www.janic.org/bok

○ 信頼性

厳格な JANIC の正会員基準を満たした正会員 NGO、且つ、最新のアカウンタビリティ・セルフチェックを取得した団体のみが参加できます。

○ NGO ならではの支援を応援できます

NGO が支援するのは、世界の公的な援助からも、現地政府の支援からも取り残されてしまった人々です。「自立支援」をキーワードに、現地の人々が自ら状況を変えていくためのサポートを行っています。

参加 34 団体一覧

皆様のご支援のおかげで、多くの国際協力 NGO が被災地の救援、復興活動を行うことができました。皆様よりいただきましたあたたかいお気持ち、ご支援に心より感謝いたします。参加 NGO の活動の様子をご報告いたします。

◇ 2013 年 3 月時点の活動報告	ページ
特定非営利活動法人 ICA 文化事業協会	3
特定非営利活動法人 IVY	3
公益社団法人 アジア協会アジア友の会(JAFS)	4
特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター・ICAN	4
特定非営利活動法人 ADRA Japan	5
特定非営利活動法人 ACE	5
公益財団法人 オイスカ	6
特定非営利活動法人 幼い難民を考える会	7
特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン	7
特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン	8
公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン	8
公益財団法人 国際開発救援財団	9
特定非営利活動法人 国境なき子どもたち(KnK)	9
特定非営利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会	10
特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会	10
特定非営利活動法人 ジェン	11
特定非営利活動法人 シャプラニール=市民による海外協力の会	12
公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会	13
公益財団法人 ジョイセフ	13
特定非営利活動法人 地球市民 ACT かながわ/TPAK	14
特定非営利活動法人 地球市民の会	14
特定非営利活動法人 難民支援協会	15
特定非営利活動法人 AAR Japan[難民を助ける会]	15
公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)	16
特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター	17
特定非営利活動法人 日本リザルツ	17
特定非営利活動法人 ハビタット・フォー・ヒューマニティー・ジャパン	18
特定非営利活動法人 パレスチナ子どものキャンペーン	18
特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン	19
特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン	19
特定非営利活動法人 メデュサン・デュ・モンド・ジャポン(世界の医療団)	20
特定非営利活動法人 れんげ国際ボランティア会	20
◇ 2012 年 3 月時点の活動報告	
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン (募金参加 2012 年 3 月まで)	21
◇ 2012 年 9 月時点の活動報告	
特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン (募金参加 2012 年 9 月まで)	22


1 団体名	特定非営利活動法人 ICA 文化事業協会
2 活動地域	福島県南相馬市原町区、相馬郡新地町
3 支援対象者	福島県国際農友会原町支部の方々、相馬郡新地町
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 震災から2年という区切りの月に多々開催された、他団体の東北活動報告会へ参加し、震災復興に関する情報の収集と交換を行いました。 ● 南相馬市原町区の農友会会員の方からの要望について、先月度行った調査を基に会員の方と内容の確認を行いました。来月は実施に向けた詳細な打合せを行います。 ● また、先月新地町の方々から市民生活を支えるための交通網整備に対する要望があり、その要望が実施可能であるか調査を行いました。当初市民生活の足となる車両を提供いただける団体・企業を探したのですが、なかなか要望と合致せずあきらめかけていたところ、弊団体の理事より国土交通省の事業である「特定被災地域公共交通調査事業」について情報提供があり、町役場の方へ紹介することができました。

1 団体名	特定非営利活動法人 IVY
2 活動地域	宮城県気仙沼市を中心とする宮城県沿岸北部及び山形県全域
3 支援対象者	福島県から山形県に避難してきた母子への支援（①避難者限定のあいびい保育園の運営（山形市）②保育料の助成）、被災地で再建を目指す保育園（宮城県気仙沼市）、コミュニティビジネス型NPOの支援
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● あいびい保育園は、3月末で福島に帰る世帯が増えるという予想に反して、4月以降の入園希望者が10人近くあり、子どもの数は増える傾向にある。これは、福島からの避難者に保育園の存在が広く知られるようになったこと、家賃補助が1年間延長されたことによると思われる。 ● 保育料の助成に関しては、順調に進んでいる。 ● 支援を行っている気仙沼の2つの保育園と、2012年度1年間の支援に関する話し合いを行った結果、1つの保育園は自分たちの力でやっていける目処が立ったとのことで、3月末で支援を終了することになった。もう一つの保育園に関しては、支援の継続が必要と認め、2014年3月まで支援を続けることになった。 ● コミュニティビジネス型NPOの支援に関しては、新たに、Uターン直後に被災したグループの起業活動に支援を行うこととなった。 ● 3月は、確定申告、決算の時期であり、保育園、NPOに対して会計処理に関する支援を強化した。



支援しているNPO団体に対し、会計処理について説明しているところ（気仙沼にて）

1 団体名	公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)	
2 活動地域	宮城県本吉郡南三陸町	
3 支援対象者	南三陸町の 32 ヶ所の集落	
4 実施した活動内容	<p>【南三陸直売所（みなさん館）運営支援】 経済復興・地域復興を目指して、新鮮な農産物・海産物を販売する施設、「南三陸直売所 みなさん館」。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運営の中心は、南三陸町民が担っていますが、まだ不慣れな広報やアドバイス、資料作成などの必要とされる支援を継続的に実施しています。 ● 3月は、事務、会計処理、を支援しながら、お彼岸に合わせた企画イベント「花の軽トラ市」の販売促進を行いました。 ● また関西初のみなさん館アンテナショップとして「大阪ガス御堂筋ふれあいバザー」への出店を2日間開催し、多くの方への広報活動に努めました。 ● さらに、「南三陸を訪ねる復興スタディーツアー」と題したプログラムも月に一度のペースで開催しています。 ● 現地を訪問して、現地と他地域との交流機会を増やしています。南三陸町の方とのふれあい、地域のものを食べて買い物し、復興につなげています。 <p>※みなさん館：http://minasankan.com/ ※地域情報紙「桜通信 59号、60号」：http://nine-town.org/?page_id=37</p>	 <p>初のみなさん館アンテナショップが大阪の中心地御堂筋に</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター・ICAN	
2 活動地域	宮城県及び愛知県	
3 支援対象者	宮城県の被災児童、仮設住宅居住者、在宅被災者及び愛知県のボランティア希望者	
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちが地域や家庭に貢献できる力を培う場として、第7回・第8回『子どもカフェ』を、延べ 14 人の仮設住宅の子どもたちと開催し、行事に合わせた菓子作りや、新学期の準備としてカレンダー作りを行なった。今月は、今まで開催してきたカフェ活動のまとめとして、「毎回参加している子に、新規参加の子のサポートを任せる事」をテーマとしたところ、子どもたちはとても良く動いてくれ、見に来ていた地域の方々を驚かせた。 ● 子どもたちが未来のまちを考え、まちづくりに参加することを目的とした「10年後の東松島を描こう！」絵画大会活動として、子どもたちが描いた 326 点の絵を東松島市社会福祉協議会主催の復興感謝イベントに展示するための準備を行なった。地域とボランティアへの感謝の気持ちを表したこのイベントで、500 人あまりの市民及び他府県の来場者に絵画を見てもらうことができた。 	 <p>復興感謝イベントで多くの方に見ていただく為、市民センターのホールで展示をした 326 点の絵画</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 ADRA Japan
2 活動地域	宮城県亶理郡山元町及び福島県双葉郡
3 支援対象者	宮城県亶理郡山元町の仮設住宅及び在宅の住民、福島県双葉郡の公立高校3校
4 実施した活動内容	<p>【宮城県亶理郡山元町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● やまもと復興応援センターの運営サポート（副センター長を派遣） ● 山元町社会福祉協議会及びやまもと復興応援センター職員向けに臨床心理士による「心の健康診断」（通算14回目）を実施 ● 3月8日～9日、仮設住宅にて日本財団ROADプロジェクトと協働で足湯（通算23回目）を開催。参加住民延べ51人 <p>【福島県双葉郡】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 浪江高校（本宮市の仮設校舎で運営中）における部活動を通じた人材育成プログラムを実施 ● 双葉翔陽・富岡高校（いわき明星大学内仮校舎で運営中）におけるユニクロと協力したTシャツ作りを通じた人材育成プログラムを実施 ● 3月15日、プログラムに参加した生徒が、ユニクロ東京本部で執行役員2名と社員に向けてデザインの発表を行なった。



ユニクロ役員と社員に向けてTシャツデザインのプレゼンをする生徒

1 団体名	特定非営利活動法人 ACE
2 活動地域	宮城県亶理郡山元町、仙台市、岩手県陸前高田市
3 支援対象者	東日本大震災によって被害を受けた子ども、大人や高齢者など住民、支援に関わる関係者
4 実施した活動内容	<p>【ACE 販売商品の袋詰めと発送業務の委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ひきつづき、岩手県陸前高田市の福祉作業所に「てんとう虫チョコ」の袋詰めと発送業務を委託した。感想を伺ったところ、「初めての内容で、最初は戸惑いを感じましたが、毎日やっていくことで慣れて早くなりました。職員と利用者さんと協力して対応してきました。利用者さんも一生懸命に作業をされていて、“今日は何個作るの？”と張り切って作業していました。」との声をいただくことができました。 <p>【被災地支援グッズの取り扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山元町の仮設住宅で暮らす女性たちが作ったイチゴ形のエコたわしを団体のオンラインショップや出店イベントで販売した。





チョコの袋入れ工程では、フライ返しや紙を使うなど、工夫して対応いただきました


1 団体名	公益財団法人 オイスカ
2 活動地域	宮城県名取市・仙台市
3 支援対象者	被災地農家（特に女性）
4 実施した活動内容	<p>【圃場実務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3/7 クロマツの掘り取り・梱包研修、山出し（出荷・搬送） ● 3/8 今年度播種する種子を種苗組合より受け取り ● 3/12 コンテナ苗育成用培養土受け取り ● 3/13 第一育苗場拡張工事 ● 3/22 種苗組合研修・会議 ● 3/30 第1・2育苗場クロマツ苗の根切り（研修）、散水開始 <p>※毎日5～15名の被災地農家の労務</p> <p>【調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海岸林復旧治山工事現場視察、広葉樹母樹林整備前実踏調査、他団体の広葉樹植栽現場見学 <p>【視察対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オイスカ海外農業研修生10名、H.I.S 視察ツアー30名、経済同友会代表幹事一行65名（報道各社含む）、名取市長、林野庁森林整備部長、宮城県農林水産部次長、宮城テレビ取材、河北新報社取材、 <p>【啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 読売日本交響楽団コンサートにて写真展（名取市文化会館・来場1,300人）、（株）ニコン仙台・蔵王工場・ANA 社員ボランティア総会にて講演、ニコン仙台駅前写真ギャラリーで写真展開催・講演、 <p>【各種協議・面会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国土交通省東北地方整備局副局長、宮城県知事、気象庁仙台空港測候所、空港ビル、名取市農林水産課、経済同友会・林野庁・同仙台森林管理署





半年ぶりの散水です。クロマツも久々に人の手で水をもらって嬉しいかな？


1 団体名	特定非営利活動法人 幼い難民を考える会	
2 活動地域	宮城県（東松島市、仙台市、気仙沼市、多賀城市）、福島県（郡山市、田村郡、安達郡、福島市、会津若松市、伊達郡、二本松市）	
3 支援対象者	避難生活を送る幼児期の子どもたちと保育関係者、保護者など	
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難先で保育を実施している施設への人件費・環境整備費継続支援 ● 被災地支援活動定例会議開催 ● 活動の進捗状況確認 ● 被災地訪問計画 ● 次年度計画（支援先の決定および内容・予算について） ● 宮城県の協力団体と、共通支援先への支援内容に関する情報交換 ● 支援を終了する法人・施設への通達 	 <p>CYRが継続支援を決めた、宮城県多賀城市の「おおぞら保育園」。3月22日、子どもたち、保護者、先生は、トレーラーハウスの園舎で初めての卒園式を迎えました。</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン	
2 活動地域	岩手県盛岡市・沿岸地域、東京都内 全国(政策提言活動)	
3 支援対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 被災した女性 ● 被災したシングルマザー 	
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● (特活) 参画プランニングの被災した女性の起業の支援やパソコンのセミナーを支援。 ● (特活) インクル・いわてによる、ひとり親支援の就業支援を支援（就業体験、カウンセリングなど）。また、グループカウンセリングを実施。 ● (特活) しんぐるまざあずふおーらむによる、福島から東京に避難している母子避難者のパーソナルサポートを支援 ● (特活) しんぐるまざあずふおーらむが「被災した 11 人のシングルマザーの方々にインタビューを行い、冊子「3.11 後を生きる シングルマザーたちの体験を聞く」を発行。 ● 被災したシングルマザーの経験をここまで網羅的に記録した資料はほかになくこの冊子が行政の復興・防災政策に生かされることが期待される。 ● 東日本女性支援ネットワークによるジェンダーと災害の政策支援活動を支援。復興・防災計画におけるジェンダー主流化のトレーニングの実施など。 ● (特活) 全国女性シェルターネットによる、「被災者対応 DV・性暴力被害者支援員養成講座」を埼玉県で実施。（宮城、盛岡で実施予定） 	 <p>(特活) 参画プランニングが主催した「起業フェア」（盛岡 2月）。起業支援コースに参加している女性たちがブースを設けて、ビジネスアイデアを紹介、参加者と交流しました。</p>

団体名	特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン	
2 活動地域	岩手県釜石市、上閉伊郡大槌町、下閉伊郡山田町	
3 支援対象者	一般、子ども	
4 実施した活動内容	<p>【心のケアプログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 幼稚園・保育施設に対するアートセラピー活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 3/5 おさなご幼稚園 ➢ 3/20-24 「子どもの絵が語る心の記憶」展覧会の実施 ➢ 3/12 大槌町里親の会遠足の実施 ➢ 3/16 「みんなのあそび場」の実施 ➢ 3/17 「親子ピザ作り体験ツアー」の実施 ● 山田町の以下の6か所の仮設団地集会所にてパソコン教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 豊間根地区・大沢地区・織笠地区・船越地区・猿神地区・間木戸地区 <p>【「三陸の高校生、インドネシアをゆく」研修 3/16～3/27】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 岩手県の高校生を対象に、2004年のインドネシア・スマトラ島沖地震の被災地アチェ州と首都ジャカルタを訪問し、現地の子ども達と交流し復興の様子を視察する研修の実施 	 <p>(岩手県釜石市こすもす公園で開催した「親子ピザ作り体験ツアー」にて、参加者の親子が仲良くピザ作りに取り組む様子。</p>

1 団体名	公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン	
2 活動地域	岩手県宮古市・山田町・大槌町・釜石市などの沿岸部	
3 支援対象者	上記地域で被災された方々	
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパンは 2011 年 3 月から岩手県宮古市、山田町、大槌町、釜石市において被災者支援活動を実施してきましたが、2012 年 12 月末を持って現地における直接的支援活動を終え現地事務所を閉鎖しました。2013 年 1 月以降は東京事務所から活動のフォローアップをしています。 ● 3 月は心のケア活動で協力した山田町社会福祉協議会主催のコミュニティカフェ、山田町フォトコンテスト、パソコン教室、及び文化、芸術、スポーツ支援活動のフォローアップを現地にて行い、活動担当者と活動の現状と今後の展開について話し合いました。評価活動及び聞き取り等から今後は地元の行政、団体主導での活動が可能との判断をし、弊財団の東日本大震災被災者支援事業は 2013 年 3 月をもって終了しました。 	 <p>コミュニティカフェの様子。みんなとお話するのが大好きなお母さん達。</p>

1 団体名	公益財団法人 国際開発救援財団	
2 活動地域	岩手県、宮城県、福島県	
3 支援対象者	被災された方一般、子ども	
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 岩手県及び宮城県沿岸部の中学校・高校を対象に、部活動用具の購入や遠征費等の活動費用を支援。 ● 岩手県・宮城県・福島県の中高生が実施するボランティア活動費用を支援。 ● 山田町及び大槌町において、仮設住宅団地内の自治会形成や地域イベント等の実施を支援。 ● 買い物等の交通手段が困難な方を対象とした、無料巡回バスの運行支援（山田町）。 ● バス停の設置や消火栓の配備等を通じた、日常生活における安全確保を目的とした支援。 ● 観光や水産業の産業復興支援を開始するための調査、および関係団体との協議（山田町、大槌町）。 	 <p>3月11日、写真集「あの日から明日に向かって～東日本大震災・山田の記録～」が発行されました。今後の防災教育に生かすことを願い、FIDRは編集と刊行に協力しました。</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)	
2 活動地域	岩手県沿岸部その他	
3 支援対象者	子ども	
4 実施した活動内容	<p>【釜石市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 先月に引き続き市内高校への給食費支援。釜石市子ども遊び場マップの作成。市内の中学生を対象にしたワークショップ。 <p>【山田町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 田の浜コミュニティセンターの再建プロジェクト実施調整中。3月25日完成、4月18日に開所式開催予定。 <p>【大船渡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内17カ所の公民館再建プロジェクトを実施調整中。3月17日にはプロジェクト3番目の完成となる岩崎公民館の落成式開催。 <p>【陸前高田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもセンター「走る！KnK子どもセンター」の運営。 ● その他、団体との連携強化・情報収集のためネットワーク会議やイベントに参加。 <p>【新規支援決定案件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 釜石市内の託児施設への備品支援。 ● 2012年度に続き、2013年度釜石市内の高校へ給食費の支援。 ● 被災地に住む子どもを対象にしたワークショップの開催。 	 <p>ファッションに強い関心を持つ釜石市内の中学生6名が東京の雑誌出版社に職場訪問し、ファッション業界の仕事について学びました。将来の夢の実現に向け、一歩前進です！</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会
2 活動地域	宮城県気仙沼市（主に階上地区）
3 支援対象者	仮設住宅および在宅の住民全般。保健・生活支援ニーズがあれば誰でも。
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● シェアは、被災者の思いを大切にしたい復興を支えるため、地元のNPO法人「生活支援プロジェクトK」と活動し、被災した方々の健康と生活を見守っています。 ● 新しい取り組みとして、日中を仮設住宅で過ごしている高齢者を対象に、「いきいき体操プロジェクト」を開始しました。3月22日、階上地区のある仮設住宅で第1回目を開催。初回は、気仙沼市役所の地域包括支援センターの保健師さんと気仙沼復興協会の方にご協力をいただき、講話や体力測定も行いました。この仮設住宅では、これから毎週1回シェアが「気仙沼・いけいけ！お茶っこ体操」を行います。 ● 体力の維持や向上も期待していますが、自分の体に意識を向けること、外に出てみんなで体操をして、介護予防や孤立防止も視野に入れていきます。これからも、ちらしでのお知らせや声掛けを続け、既存の集まりにあまりこれられない方に参加いただければと思います。




チェックリストと体力測定の結果を点数化して、虚弱、転倒、尿失禁、低栄養、軽度認知症のリスクがどれだけあるかを行政の保健師さんよりフィードバックいただきました。

1 団体名	特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会
2 活動地域	宮城県南三陸町
3 支援対象者	南三陸町民
4 実施した活動内容	<p>① ボランティア活動隊派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第55次隊（3/9～11）派遣者は6名。3/9・10は漁協のわかめ茎取り作業に携わった。3/11は総合体育館で行われた追悼式に参列した。 ● 第56次隊（3/30～4/1）派遣者は8名。3/30・31午前は以下の植樹作業を行い、31午後、4/1午前はプレハブ支援でつながりのある津の宮地区のわかめ収穫作業に携わった。 <p>② 第2回復興祈念植樹</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 56次隊は三島チーム・静岡絆の会の27名と協働で桜を植樹した。30日は事前に希望を受けていた町民宅と津の宮（大自然塾の敷地）に計97本、31日は神割崎キャンプ場に73本、両日で170本を植樹した。 <p>③ 派遣者数（2011年3月～2013年4月1日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在まで延べ353名（運営要員：延べ51名、活動要員：延べ302名）を派遣。活動総日数は1,606日。




津波で流されてしまった住宅跡に、復興への願いを込めて桜の苗木を植樹するボランティア56次隊隊員


1 団体名	特定非営利活動法人 ジェン	
2 活動地域	宮城県石巻市、南三陸町、女川町	
3 支援対象者	東日本大震災で被災した、①沿岸の市街地に居住する方々 ②仮設住宅に入居された方々 ③漁業者・農業者の方々 ④生活環境の変化した子どもたち	
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 被災し人口が流出した市街地沿岸部において、コミュニティスペースを設置、運営し、町内単位で住民同士の話し合いの場を設定、地域の課題解決やイベント開催の補助など、復興へ向けた自治活動のサポートを行っています。 ● 仮設団地で、「避難マップ」を住民の方たちと一緒に作成しました。 ● 3月にボランティア313人を受入れし、漁業支援活動、学校支援活動を行いました。ボランティア参加者は延べ8800人に達しました。 ● 子どものストレスケアとして、「子どもダンス教室」を、プロの講師を招いて継続して実施しています。 ● 牡鹿半島などの漁村地域では、各地域の課題に合わせ、パソコン教室、住民運営の食堂の支援、集会所の改修、海産物ネット販売の補助、漁業体験の企画運営補助などを行っています。 <p>※支援速報: http://www.jen-npo.org/blog/miyagi/</p>	 <p>門脇中学校の生徒・先生方と協力して、生徒発案の花壇の作成と、看板の設置を行いました。地域づくり活動の一環として、今後継続的に取り組んでいきます。</p>


1 団体名	特定非営利活動法人 シャプラニール＝市民による海外協力の会
2 活動地域	福島県いわき市
3 支援対象者	いわき市で生活している皆さん（相双地区から避難している方、いわきで津波、地震により被災した方、いわき市にお住まいの方）
4 実施した活動内容	<p>① 交流スペース「ぶらっと」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 月に2つから3つの町ごとに、町民の集いを継続して開催している。3月に交流サロンについて聞き取りを行った際に、「誰でも集まれる場所も必要だし、同じ町の出身の人たちとも集まりたい」、「故郷を忘れたくない」といった声が多くあった。出席者の多い少ないに関わらず、引き続き企画したい。 ● 手芸の教室からサークルに発展したグループが積極的な活動を続けている。自分たちの技術向上とともに、周囲とのコミュニケーションも活発でとても賑やかな時間になっている。 <p>② 広報誌「ぶらっと」通信の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 発送作業にたくさんの利用者みなさんが手伝いに来て下さるようになった。「何か役に立ちたい」と積極的に集まっている。 <p>③ 戸別訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者世帯、独居世帯などへ今現在困っていることなどを聞きに訪問活動を続けている。必要があると判断した場合は社会福祉協議会や、包括支援センターへつなぎ、継続的なケアを行っている。




門富岡町民の集いで、町に伝わる民話を紙芝居で楽しみました。通りかかる方も立ち寄ってくださいます。


1 団体名	公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会	
2 活動地域	宮城県（気仙沼市、亶理郡山元町）、福島県（南相馬市）、岩手県沿岸（山田町、大槌町、大船渡市、陸前高田市）	
3 支援対象者	一般	
4 実施した活動内容	<p>【気仙沼市での活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 登米沢まちづくり協議会を開催し、海岸防潮堤のイメージを検証するため、実際にポールを立てて参加者で議論したりと一日かけて話し合いを行った。 <p>【宮城県亶理郡山元町・福島県南相馬市での活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 南相馬市での移動図書館での本の貸し出しや集いの空間づくり（3月の利用者数420人、貸し出し冊数815冊、述べ16仮設団地に巡回） <p>【岩手県（山田町、大槌町、大船渡市、陸前高田市）での活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4地域の仮設団地に対し、移動図書館者での本の貸し出しや集いの空間づくり（3月の利用者数480人、貸し出し冊数1376冊、述べ33仮設団地に巡回）、及びかねざわ図書室、陸前高田コミュニティー図書室を開館。ほか、大槌町25か所での文庫活動を実施している。 	 <p>移動図書館運行先の仮設団地では、いつも子どもたちが「また来てね」と言って、図書館車を見送ってくれます。</p>

1 団体名	公益財団法人 ジョイセフ	
2 活動地域	岩手県、宮城県、福島県	
3 支援対象者	妊産婦と女性及び新生児	
4 実施した活動内容	<p>【「リフレッシュママクラス」開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 深い傷を負いながら子育てをしている被災地の母親たちが、本音の交流を通して励まし合い、「生きる力」、「育てる力」を取り戻す心的支援プログラム「リフレッシュママクラス」を開催しました。 ● 福島県の2市町村（須賀川市、泉崎村）で実施した計4回のクラスには、のべ23人の被災産婦が参加しました。 <p>※「リフレッシュママクラス」は、現地の保健師、及び自治医科大学公衆衛生学部門、母子保健推進会議の連携協力、及び厚生労働省母子保健課の指導により実施しています。</p>	 <p>傷ついたママ同士の共感や本音で語り合うエクササイズを通して、一人ひとりが本来持っている力を発し、母として、女性として生きる力を取り戻していきます。</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 地球市民 ACT かながわ/TPAK	
2 活動地域	岩手県釜石市	
3 支援対象者	釜石市の2つの保育園の園児、保育士、約200名とその家族、並びに周辺の方々	
4 実施した活動内容	<p>【2011年5月より「心と体のケア」を継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本募金と内閣府の「新しい公共事業」助成等により釜石市と「釜石横浜子ども支援協議会」を設立し、下記海外の財団と共に、2つの保育園の子ども達、教職員への心と体のケアを行っています。 <p>※3月は、前月同様に保育園の新園舎建設の調整を行いました。基礎建設が完了し、現在骨組み建設を行っています。先生達の願いはひとつ。早く安心して保育ができる環境を作ること。</p> <p>【海外からの支援をつなげる「子ども達が安心して暮らせる場を】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● KHW ドイツ子ども財団様、クレディスイス財団様からの支援による2つの保育園の新しい園舎建設のお手伝いをしています。 <p>※本募金も保育園建設に活用させていただいております。 (①2013年6月完成予定 ②2014年3月完成予定)</p>	 <p>卒園式の様子 皆さまから寄せられたご寄金は釜石の子ども達の明るい未来につながっています。これまでのご協力に心より感謝申し上げます。</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 地球市民の会	
2 活動地域	佐賀県	
3 支援対象者	一般県民	
4 実施した活動内容	<p>【ハッピーストック・プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 来年度、被災地の子どもとその家族を佐賀に招聘する資金を調達するために、支援寄付付き「復幸支援のお酒、絆伝心」を、大学生を中心にしたボランティアチームと地元のイベントに参加しました。両日で200本（6万円）分の資金調達をいたしました。 <p>【出番だ！プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本年度最後にボランティアとして1名宮城県に派遣しました。佐賀から今後できる支援は何かをテーマに1週間カウンターパートの施設や支援先を回っていただきました。日常の中での新たなニーズが交流ベースに移ってしまった今、次年度以降の「忘れない」をどのように活動につなげていくか新たな課題が浮き彫りにされました。 <p>【3.11 イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遠く離れた佐賀から何ができるのかを考え、丸2年となる3月11日は鎮魂と忘れないという想いを佐賀県民と共有する時間・空間を作ろうと、「3・11 だいどんいっしょキャンドルの夕べ」を企画、100名の参加者で東北を思いました。 <p>※詳細は、 http://www.genkiokurou.jp/ 及び http://www.facebook.com/sagakaragenki</p>	


1 団体名	特定非営利活動法人 難民支援協会	
2 活動地域	岩手県、宮城県	
3 支援対象者	既存の支援体制から取り残されやすい方（女性、子ども、外国人など）	
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティ支援として、仮設住宅などで法律相談会を5回開催、のべ41人が集まった。当会で行ってきたコミュニティへの支援を引き継ぎ、また陸前高田市の子育て世代の女性のネットワーク構築を目指す「まあむたかた」の組織基盤整備と後方支援も継続して行っている。 ● 現地で活動する団体間の連携強化と情報共有を目的としたネットワーク協議会の運営を継続して実施。4月の新体制に向けたキックオフミーティングも行った。 	 <p>紙芝居を用いた法律支援の様子</p>


1 団体名	特定非営利活動法人 AAR Japan [難民を助ける会]	
2 活動地域	宮城県、岩手県、福島県の東日本大震災とそれにともなう原発事故で被災した地域	
3 支援対象者	被災した障害者、高齢者、子どもなど	
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● AAR では、お菓子やパンといった食品やアクセサリー、手芸小物などを製造・販売して工賃を得ている障害者施設が、より魅力的な商品を作り、より多くの方に購入していただけるよう、アクセント株式会社の協力を得て「アートクラフトデザインアワード」というコンペを実施しました。デザインや機能に優れ、かつ、障害のある方が製造可能な、作り手にとってのバリアフリーというふたつの面を両立させた商品の案を募集したところ、全国から381もの企画が寄せられました。3月13日の審査会では、著名なデザイナーの方々などが、製造を担う施設職員の方と共に優秀作品を決定しました。4月中に審査結果を発表するとともに、今後はその商品の販売先も開拓していきます。 ● この他、地域交流と心身の健康を保つためのミニイベントの開催、福島の子どもたちへの遊具の提供などを行いました。 	 <p>審査会の様子。商品の魅力に加え、障害のある方が作れるデザインかどうかをじっくり検討しました(2013年3月13日、東京)。</p>


1 団体名	公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS)
2 活動地域	岩手県釜石市、②宮城県仙台市・石巻市など、③福島県福島市・いわき市など
3 支援対象者	設住宅や孤立集落の在宅被災者の方々（主に高齢者⇒岩手県釜石、福島県いわき市）、及び児童養護施設の子ども達（福島県福島市）
4 実施した活動内容	<p>① 釜石地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カリタス釜石の「ベースふいりあ」（教会での心のケアサロン）と、仮設住宅での「移動ふいりあ」（傾聴活動やお茶っこサロン）、及びスタッフ養成研修のため毎月カウンセラーを派遣している。 ● 看護チーム（第9回）は、仮設住宅と孤立集落（白浜地区）の在宅被災者のための訪問ケア（2月28日～3月6日）に加え、上記の「ベースふいりあ」「移動ふいりあ」に協力している。 <p>② 仙台・石巻</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東北教区被災者支援センターの活動を支える東北教区センターのスタッフの person 費サポートを続けている。 <p>③ 福島県</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いわき市の仮設集会所での健康相談（毎月2回）のため、医師・保健師を派遣している。 ● NPO 法人「福島県の児童養護施設の子どもの健康を考える会」が行う児童養護施設の子ども達を健康被害（内部被ばく・外部被ばく）から守る活動（※）を支援している。 <p>※食品放射線量測定室の設置、個人線量計による被ばく量測定、甲状腺エコー検査のための医師派遣サポート</p>




3.11 2周年 黙想と祈りの集い @カリタス釜石

1 団体名	特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター	
2 活動地域	宮城県気仙沼市、福島県南相馬市	
3 支援対象者	上記地域の住民	
4 実施した活動内容	<p>【気仙沼市鹿折地区の地域支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仮設住宅や在宅生活など個々の住民のケースに合わせ、地域に密着した生活支援を行っています。長年住民に親しまれてきた小学校が3月23日に閉校するにあたり、閉校式典の準備や運営に協力しました。今後は施設の活用方法を住民と模索し、校舎がコミュニティを支える存在であり続けるよう支援を続けます。 <p>【福島県南相馬市の仮設住宅におけるサロン支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仮設住宅の入居者の憩いの場となるサロンを、地元団体に協力し7ヶ所にて週6日運営を続けました。3月には、NPO法人となった地元団体の理事会に参加し、運営基盤の強化に協力しました。 <p>【福島県南相馬市での災害ラジオ局の運営支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域に密着した情報を伝えるラジオ局「南相馬ひばり FM (南相馬災害 FM)」の運営支援を継続しました。 	 <p>【気仙沼】閉校式で行われた「校旗納め」</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 日本リザルツ	
2 活動地域	岩手県釜石市とその周辺自治体	
3 支援対象者	上記活動地域の仮設住宅等で生活する住民	
4 実施した活動内容	<p>【釜石・アフリカ交流フェスタ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 釜石市平田第6仮設団地にて、釜石・アフリカ交流フェスタを開催しました。約300名を超える住民の皆さんが参加し交流を深めました。釜石の伝統芸能とアフリカの踊りを披露し、大いに盛り上がりました。 <p>【リボンフラワー講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 釜石市の花である「はまゆり」をリボンフラワーで作る講座を箱崎と桜木町で開催。「復興の花：はまゆり」が、市内各地に広がっています。 <p>【放課後子ども教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 釜石市の小学生を対象に、「凧づくり講座」を2か所で開催しました。 ● 造った凧に「自分の夢」を描き空高く舞い上げて夢を叶えよう取り組みました。 <p>【お茶っこサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仮設談話室にて、軽い体操を含めたお茶っこサロンを行いました。 	 <p>【仮設に住む方々とアフリカ・日本の学生34名がふれあう釜石・アフリカ交流フェスタ。温かいメッセージを寄せ書きした大凧を、仮設団地自治会長に贈呈しました。</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 ハビタット・フォー・ヒューマニティー・ジャパン
2 活動地域	岩手県大船渡市、宮城県東松島市、名取市、女川町など
3 支援対象者	所有する家屋が全半壊認定を受けた被災者、仮設住宅入居者、および被災したコミュニティ全体
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● ソーラーパネル設置事業 【岩手県大船渡市】： 公開入札を経て、ソーラーパネル設置業者を森岡に拠点を置く地元企業に決定。さらに、第二期として、避難所指定になっている公民館への支援を視野に入れ、ニーズアセスメントを実施。 ● 家屋修繕事業 【宮城県東松島市】： 3月20日～24日、市内仮設住宅へ修繕支援のチラシを配布。3月30日に地元新聞へのチラシ折り込みを実施。広く家屋修繕支援について、情報を伝達。また、仮設住宅でのお茶会などでも修繕支援説明会を実施。 ● コミュニティ再生事業 【宮城県東松島市】： 野蒜地区希望のあかり商店街で、仮設商店設置のため、土地の整備作業を実施。 【宮城県女川町】： 離島のため、未だにがれきが残っている出島で、ボランティアががれき撤去作業。  <p>宮城県女川町出島でがれきを撤去するボランティア</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 パレスチナ子どものキャンペーン
2 活動地域	岩手県大槌町
3 支援対象者	小学生を中心とする子どもたち、保護者、地元住民
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 1周年を迎える「大槌町こどもセンター」 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 毎週月～金曜日、10時～18時まで。利用登録している学童は200人を超えている。曜日ごとのプログラムを組み合わせながら、さまざまな子どもたち、保護者のニーズに出来るだけ答えることを心がけていて、広い年齢層の子どもが活動に参加している。春休みには朝から多くの子どもが参加した。 ➢ 3.11から2周年を迎え、子どもたちにも動揺や不安が見られたが、子どもセンターの保育士やスタッフはそれを予想しながら対応した。スタッフや保護者向けの研修会も実施。 ➢ 大槌では3月末で4小学校が廃校になり、新しい「大槌小学校」に統合された。新年度も新たな登録と参加が予想されている。 ● 写真データベースの公開： 町内の商業施設と町役場にデータベースPCを設置して継続して公開している。 ● 仮設住宅地で心理専門家を迎えてのリラクゼーション・ワークショップを開催、大好評だった。  <p>春休み、岩手もだいぶ暖かになった。</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン
2 活動地域	宮城県南三陸町
3 支援対象者	南三陸町歌津漁協、志津川漁協 550名
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● ピースウィンズ・ジャパンは、東北被災地で漁業の本格的な再開という大きな課題に向けて、現地の漁協を通じて取り組みを続けています。このたび、震災の影響で漁具が流されて震災直後の再開を断念したアワビ漁の再開に向けて、アワビ漁用の漁具を購入した組合員550名を対象に、その購入金額の一部を負担しました。 ● アワビ漁は、漁師たちにとって「冬のボーナス」とも呼ばれているほど、冬季の大きな収入源となります。漁師たちにとって、プロとしてのプライドをかけた勝負の醍醐味を味わえる、やりがいのある漁でした。震災以降2年ぶりとなる漁が再開したことで「やっととれたなあ」と、漁師からは喜びの声があがっています。



収穫したアワビを選別

1 団体名	特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン
2 活動地域	岩手県
3 支援対象者	岩手県の被災者の方々
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 被災地支援に使用する車両の貸与 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 岩手県盛岡市に拠点を持つ「一般社団法人 SAVE IWATE」に4輪駆動車両の無料貸与を継続しました。この車両は、支援物資の受け取り・配給・在庫管理のための輸送、被災地または被災者宅への支援物資の輸送、ボランティアやスタッフの輸送などに使用されています。(4月2日譲渡完了) ● 多目的コミュニティスペースの運営 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 岩手県上閉伊郡大槌町で「一般社団法人おらが大槌夢広場」と協力して、多目的コミュニティスペース「町方ドーム」の運営を行っています。地元の住民の方たちを対象にアロマ体験イベント、クラフトかご作り、切り絵教室、そば打ち体験、デジカメ教室、パソコン教室、ペーパーフラワー教室などの各種教室、イベントが行われました。



クラフトかご作り」では13人の方が参加されました。(3月15日、岩手県大槌町 町方ドーム内にて)

1 団体名	特定非営利活動法人 メデュサン・デュ・モンド・ジャポン (世界の医療団)
2 活動地域	東北の被災地 (福島県相馬市)
3 支援対象者	地震と津波被害の影響で避難を余儀なくされた住民
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 大震災から丸2年目を迎える2月末、今回も福島県相馬市の仮設住宅のサロン活動に参加。 ● 午前中は相馬漁港に面した原釜地区の住民が多く集まる集会所でのサロン活動。協働している「相馬広域こころのケアセンターなごみ」のスタッフの方達と、住民の血圧測定やフェイスシートによる今日のこころの状態を記入していただく。今回は紙コップを半分にしたものに、好きな折紙を切って貼り、ひな人形を作ってもらったこととした。 ● そうする中で住民の話しを傾聴する。集まった住民の多くはやや高齢のご婦人で、ご主人は漁師をしていた方が多い。震災前は、共稼ぎで、漁港で網の修理をしたり、加工場で働いていたとのこと。「ときどき、そんな働いていたころの夢を見るんだ」とおひとりの方。ほとんどの漁師は仕事を辞め、今は瓦礫処理の仕事をしていると言う。



住民が多く集まる集会所でのサロン活動の様子

1 団体名	特定非営利活動法人 れんげ国際ボランティア会
2 活動地域	福島県いわき市小名浜地区
3 支援対象者	原発事故被災地域からの避難者の皆さん
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月は小名浜交流サロンにおいて13回の催しを行ないました。一カ月間の利用者は男性104名、女性266名、子ども138名、合計508名でした。 ● 今回は、熊本県の九州看護福祉大学の学生ボランティア12名による「薬草カフェ」の様子をお知らせします。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 震災2周年当日に当たり、各地で追悼や記念行事があり、参加者が集まるか不安でした。しかし学生たちの声掛けにより大勢の方が参加してくれました。 ➢ 交流は薬草茶の提供と軽いマッサージ、そしてタッチングケアが行われました。九州のような遠くの人々でさえも気にかけてくれているという思いもあり、参加者は遠来のボランティアに大喜びで満足そうでした。 ➢ 熊本と福島の間温まる微笑ましい交流ができたと感じます。震災が起きた14時46分には、参加者と学生の全員で黙とうを行いました。



遠来の若いボランティア達と語る被災者の皆さん

1 団体名	特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
2 活動地域	宮城県登米市、南三陸町、女川町、石巻市、名取市、新潟県柏崎市、岩手県大槌町、岩泉町、山田町、宮古市、田野畑村、野田村、久慈市、二戸市、洋野町、矢巾町、滝沢村、藤沢村、雫石町、紫波町、陸前高田市、一関市（当団体事務所）
3 支援対象者	上記地域 約7,900人
4 実施した活動内容	<p>【2月からの継続事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チャイルド・フレンドリー・スペース（CFS）で子どもたちの心のケア ● 南三陸町歌津地区学童保育再開支援事業 ● 気仙沼市の漁業を活性化させるための「ブランド力向上プロジェクト」の実施 ● 仮設住宅への衣料品・生活物資（支援活動を行っている教会等のグループ・団体を通じた支援も含む）・「仮設のトリセツ」の配布 ● 学校給食及び給食センター応急稼働支援 ● 新潟県柏崎市に避難中の福島県民世帯への見守り支援員による個別訪問や、避難者交流イベントの開催 ● 仮設団地の集会所での消耗品（飲み物など）の支援や、親睦会などのイベントの開催 ● 小・中学校への井戸・ソーラーパネル・ビオトープの支援 ● 託児支援（MIYAGI 子どもネットワークとのパートナーリング） ● 震災で著しく家庭の経済状況が悪化したために就学困難となった子どもたちが安心して学校で学べるよう就学支援の実施  <p>柏崎市で行われた交流イベントの様子</p> <p>【3月の新規事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 南三陸町で、子どもたちが町の復興について考え、まちづくりに対して自らの意見を発信するための子ども参画イベントを開催しました。イベントでは子どもたちが自らの意見を寸劇という形で発表しました。子どもたちは支援活動の消極的な受け手と見られがちですが、このイベントは子どもたちが復興に際し積極的な地域づくりの担い手になることができることを示しました。 ● 震災以降、登米市の旧善王寺小学校に間借りしていた戸倉小・中学校の生徒たちの志津川への移転が決定したので、机・椅子・書架などの物品支援を行っています。これにより、生徒たちはより良い教育環境で勉強できるようになることが期待されます。 ● 南三陸町と気仙沼市の仮設住宅に住む被災者の買い物や通院のための交通手段の確保を目的として、社会福祉協議会に「福祉車両」を寄付しました。  <p>南三陸町で行われた子ども参画イベントの様子</p> <p>※当団体の東日本大震災復興支援のための募金受付は3月末で終了いたしました。今までたくさんのご支援をいただきまして本当にありがとうございました。募金は終了いたしました。今後も復興支援の活動は続けて参ります。</p>

1 団体名	特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン
2 活動地域	岩手県大船渡市
3 支援対象者	大船渡市及びその周辺の子ども、住民
4 実施した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 岩手県大船渡市内の小学校に在籍し、小学校陸上競技記録会に参加する児童及びその応援団を対象に、「小学校陸上競技記録会」に参加する際の交通費支給支援を行いました。 ● 三陸鉄道南リアス線は東日本大震災以来、未だ全線不通となっており、大会会場への交通手段がバスのみと限られている背景があります。被災地された方々の多くは家や職を失い、経済的に不安定な状況にあり、今回の支援対象のような課外授業への費用負担が難しい場合があります。今回支援をすることになった「小学校陸上競技会」会場への交通費用が保護者への経済的負担が多きいとこの地元の方からの意見を元に支援する事となりました。





地球 × 未来、あなたと今できること。

NGOを支援するNGO

国際協力NGOセンター(JANIC)

Japan NGO Center for International Cooperation

Tel: 03-5292-2911 Fax: 03-5292-2912 HP: www.janic.org

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 アバコビル 5F